

生誕200年

近世鳥取画壇の「黄金時代」最後の華

根本 幽峨

ザ・ラスト
鳥取藩御用絵師

2024 2.10 [土] → 3.20 [水・祝]

〈前期展示：2月10日～3月3日 後期展示：3月5日～3月20日〉

【開館時間】午前9時～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

【会場】鳥取県立博物館 第1・第2・第3特別展示室

【休館日】2月12日を除く毎週月曜日、および2月13日(火)

【観覧料】一般700円(団体・前売・大学生・70歳以上500円)

※次の方々は無料です 高校生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方、難病患者の方、要介護者等およびその介護者

【主催】根本展実行委員会(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)

【協賛】NBK NIPPON モリックスジャパン 吉備総合電設 三和商事 TIC 鳥取県情報センゾー



鳥取県立博物館

TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM



- 1.《平家物語 宇治川先陣・弓流図屏風》(左隻・部分) 渡辺美術館蔵
- 2.《三福神・花卉鶴亀図》(右幅・部分) 個人蔵
- 3.《大黒白鼠初夢図》(部分) 福田美術館蔵
- 4.《狸々図》(左幅・部分) 鳥取県立博物館蔵(石谷コレクション)
- 5.《四季花大和人物押絵貼屏風》(左隻・部分) 渡辺美術館蔵



生誕200年

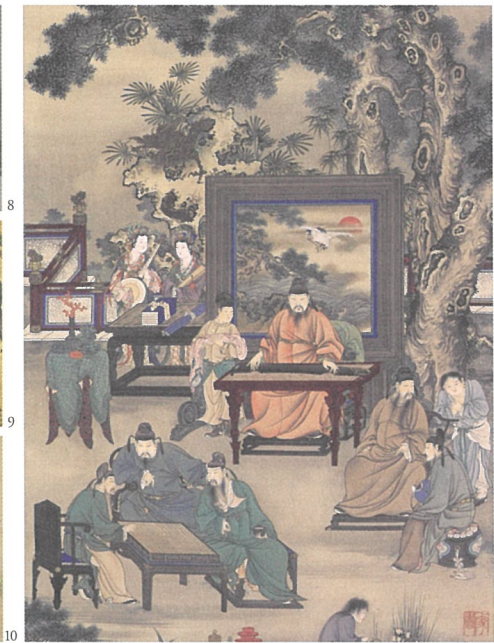
根本幽峨

近世鳥取画壇の「黄金時代」最後の華

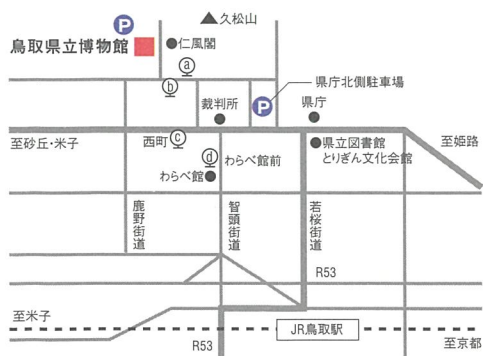
YUGA

18世紀末から幕末にかけての鳥取藩には、土方稲嶺、片山楊谷、島田元旦、黒田稲臯、沖一峨ら、実力派・個性派の画家たちが集い、「因幡画壇の黄金時代」と称される華やかで豊穡な絵画文化が開花しました。その最後期を飾る画家 根本幽峨(1824-66)は、鳥取の商家 砂田屋に生まれ、10代で江戸に上り江戸定詰の鳥取藩絵師 沖一峨に師事します。師のもとで幅広い画派の作品を貪欲に吸収し、若くして藩の御用をこなしながら着々とキャリアを積み上げた幽峨は、安政五(1858)年に藩絵師に召し出されました。幽峨が手掛けた作品は、狩野派の伝統的な漢画・やまと絵をはじめ、宋から明代にかけての中国人画家の筆法に倣った山水・人物画、浮世絵風の当世風俗画、肖像画、真景図などにも及びます。それら画題に応じて画風を使い分け、師 一峨に引けを取らぬほど実にバラエティに富んだ作画を展開しました。激動の幕末とともに42年の短い生涯を閉じますが、郷土鳥取で数多くの門弟を育て上げ、彼の遺鉢を継ぐ者たちによって近代鳥取の日本画壇の基礎が形成されるに至ります。

この度、幽峨の生誕200年を記念して初の大規模回顧展を開催いたします。初公開の作品を交えつつ、画業初期から晩年に至るまでの代表作、資料を一堂に展示し、近代前夜の日本の片隅で鮮鋭な輝きを放ちながら、絵筆で人生を切り開いた一人の画家の全貌に迫ります。



◆ 次の企画展 ◆ 「古代エジプト美術展」 令和6年4月6日(土)～5月12日(日)



※前売り券は2024年2月9日まで販売
 【主な前売り券販売所】鳥取県立博物館、とりぎん文化会館、倉吉未来中心、米子コンベンションセンターほか(お近くの販売所は当館HPにてご確認ください)
 ローソンチケット(ローソン店内Loppi・Lコード363184)にて販売

交通のご案内

- ◎ JR鳥取駅からバスで
 - a. 100円バス[ぐる梨(緑コース)]で「①仁風閣・県立博物館前」下車すぐ
 - b. ループ麒麟獅子(土・日・祝日のみ)で「②鳥取城跡」下車すぐ
 - c. 砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
 - d. 市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ◎ JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- ◎ 鳥取空港から…鳥取駅行連絡バスで「湯所」下車約700m
- ◎ お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
- ◎ 当館駐車場40台駐車可能 ※なるべく公共交通機関をご利用ください。

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124
 Tel.0857-26-8042 Fax.0857-26-8041
<https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/>
 E-mail hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp



関連プログラム

■ 特別講演会I

「鳥取画壇よもやま話 ―鳥取藩絵師・根本幽峨誕生の背景―

元・鳥取県立博物館学芸員の山下真由美氏をお招きして、近世鳥取画壇の特性とともに、幕末に根本幽峨がその才能を開花させるに至った背景や作品の魅力についてお話しいただきます。

- ◎日時/2月24日(土) 14:00-15:30 ◎会場/鳥取県立博物館 講堂(聴講無料)
- ◎講師/山下真由美氏(大阪市立美術館 学芸員)
- ◎定員/先着250名(申込不要)

■ 特別講演会II

「根本幽峨の画業 ―狩野派に学び藩絵師としてはばたく―

美術史家 門脇むつみ氏をお招きし、同時代の狩野派画家との比較を踏まえた画壇における幽峨の位置付けと、特定の作品を詳細に鑑賞し、その特性についてお話しいただきます。

- ◎日時/3月9日(土) 14:00-15:30 ◎会場/鳥取県立博物館 講堂(聴講無料)
- ◎講師/門脇むつみ氏(大阪大学人文学研究科 教授)
- ◎定員/先着250名(申込不要)

■ ギャラリートーク

ご来場の方とともに会場を巡りながら、本展担当学芸員が解説をおこないます。

- ◎日時/2月10日(土)・3月16日(土)、両日とも14:00-15:00
- ◎会場/鳥取県立博物館 第1・第2・第3特別展示室(要観覧料)

■ ワークショップ「体験! 体感? 日本美術のミカタ for ビギナーズ」

かつて日本の生活を彩った掛軸や屏風。どう使われたのか、どういう仕組みになっているのか、素朴な疑問を担当学芸員が解説し、実際に作ってみることでその魅力に触れます。

- ①《内裏雜圖》でミニ掛軸を作る編
- ②《楼閣山水図》でミニ屏風を作る編
- ◎日時/①2月23日(金・祝) 14:00-15:30 ②3月16日(土) 14:00-15:00
- ◎会場/鳥取県立博物館 会議室・展示会場
- ◎定員/先着20名(要申込・要観覧料)
- ※詳細は当館HPをご確認ください。

- 1.《小松引図》(部分)個人蔵
- 2-7《四季花大和人物押絵貼屏風》(部分)渡辺美術館蔵
- 3.《楼閣山水図》(右隻)個人蔵 4.《女宴楽図》個人蔵
- 5.《内裏雜圖》(部分)鳥取県立博物館蔵(石谷コレクション)
- 6.《大黒白狐初夢図》(部分)福田美術館蔵
- 8.《山御尊像》(部分)鳥取県立博物館蔵 9.《藤園屏風》(部分)個人蔵
- 10.《日本武尊東征之図》(部分)鳥取県立博物館蔵(安富コレクション)
- 11.《琴棋書画図》(部分)鳥取県立博物館蔵(安富コレクション)

鳥取県立博物館
 TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

当館HP・SNSはこちら Follow Us!

お客様の満足のその先へ…

MORRIX
 株式会社モリックスジャパン
 TEL 0857-23-3641
 本社 鳥取市南栄町203-6
 倉吉店 倉吉市幸町529番地ユーミーレジデンス1-3号
<http://www.morrix.co.jp/>

NEX NIPPON EXPRESS
 日本通運株式会社 鳥取事業所
 TEL.0857-28-0202